

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
専門学校岡山情報ビジネス学院		昭和61年7月26日		三村 光		〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人 三友学園		昭和61年7月26日		池田 基熙		〒 700-0024 (住所) 岡山県岡山市北区駅元町1番4号 ターミナルスクエア内 (電話) 086-224-2336			
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
工業	工業専門課程		ネット・動画クリエイター学科		平成14(2002)年度	-	平成28(2016)年度		
学科の目的		ホームページ制作の基礎から応用、動画制作の領域まで、ネットビジネスを支えるスキルや知識を幅広く修得。実践的なカリキュラムで、現場の即戦力としてWeb業界で活躍できる人材を育成する。							
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格 等)		【取得可能な資格】Illustrator®クリエイター能力認定試験 Photoshop®クリエイター能力認定試験 色彩検定 Webデザイナー検定 他							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		1,781 単位時間	337 単位時間	1,724 単位時間	70 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位		単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率			
60 人	66 人		0 人		0 %	1 %			
就職等の状況	■卒業者数(C)		38		人				
	■就職希望者数(D)		35		人				
	■就職者数(E)		34		人				
	■地元就職者数(F)		24		人				
	■就職率(E/D)		97		%				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		71		%				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		89		%				
	■進学者数		0		人				
	■その他								
	就職斡旋辞退 3人								
(令和 6 年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)									
■主な就職先、業界等									
(令和6年度卒業生)									
【業界】Web業界、デザイン業界、動画制作									
【就職先】株式会社システムタイズ、ハジメクリエイト、株式会社ワード、株式会社ルクス、株式会社フォーミュレーションI.T.S.、ライズプランニング									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：有								
	※有の場合、例えば以下について任意記載								
	評価団体： 一般社団法人専門職高等教育保証機構		受審年月： 平成31年2月		評価結果を掲載したホームページURL		https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf		
当該学科のホームページURL	https://oic-ok.ac.jp/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A：単位時間による算定)								
	総授業時数				1,781 単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				70 単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数				109 単位時間				
	うち必修授業時数				179 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				70 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				109 単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				70 単位時間				
	(B：単位数による算定)								
	総単位数				単位				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				単位				
	うち企業等と連携した演習の単位数				単位				
	うち必修単位数				単位				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				単位				
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数				単位				
	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				単位				
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				2 人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				2 人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				2 人				
	計				6 人				
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				3 人				

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

顧客のニーズを満足するWebサイトの制作ができる技術力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、ディレクション能力を備えた実践的なWebデザイナーを育成するため、最新のWeb マーケティング手法やサイト設計方法・最新デバイスの動向、映像広告に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、その実情と求められるスキル等について意見や提案をいただき、カリキュラムの追加や内容更新、教材作成・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

実践的なWeb サイトを制作するために、コミュニケーションをとることができ、自ら学び、成長していける人材を育成するために、Web関連企業及び、岡山情報ビジネス学院関係者で構成された「教育課程編成委員会」を岡山情報ビジネス学院内に設置する。年間2回以上開催される委員会にて教育課程の編成に向けた意見・助言等を受け、カリキュラム等の改善・工夫等を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
後藤 誠	岡山WEBクリエイターズ 代表	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
宿野 高平	株式会社OHKエンタープライズ コンテンツ制作部 担当部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	③
中上 篤	専門学校 岡山情報ビジネス学院 ネット動画クリエイター学科長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年 8月19日(月) 16:00～18:00

第2回 令和7年 1月29日(水) 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

(1)業界動向、リモートワークについて

VRや広告などで動画の需要は高まっている。関東はリモートワークが多く、岡山でも多少ではあるが行っている会社もあるので、リモートの練習をすることは良い。ただ、新卒採用ではリモートワークでの枠は他社でもほとんど無い。

(2)前回委員会のご提案を受けて

WordPressなどのCMSについては早めに触れ、コーディングだけでなくノーコードツールにも触れさせておくべきである。実際の業務ではWordPressが多い。

(3)カリキュラム、企業連携について

著作権や商標、規約などについて触れるべきであるので、授業の中で学生に周知していく。

(別途、以下の資料を提出)

* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程

* 教育課程編成委員会等の規則

* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1

* 学校又は法人の組織図

* 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携授業の内容が動画中心になっている、Web系の内容も実施する必要性があるのではないかと指摘がありました。そこに向けて、次年度より「岡山Webクリエイターズ」と授業やセミナーなどで取り組みを実施して行く予定です。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業科目の担当教員と連携企業の講師が事前に授業内容と目的、段階的にスキルアップできる実習課題について打ち合わせを行い、スケジュールを作成する。前期は担当教員より広告計画や映像制作スキルについて、基礎的な内容の講義と実習を行い具体的な演習を行う。後期は連携企業と複数回のヒアリング会をおこない(オンライン)、動画広告制作の進捗確認やチームで仕事を進めるうえでのアドバイス・指導・改善および最終評価をいただく。連携授業内容は、施設内で上映する星座にまつわる映像コンテンツ、会場紹介コマーシャル映像、上映前諸注意映像など、案件ごとにチームに分かれ制作を行う。制作後は、現場の方からコメントをいただき、成果確認を実施して今後の制作に活かす。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科目概要	連 携 企 業 等
キャリア実習	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	就職活動を控え、実社会での経験を積むことで就業イメージの形成を図る。また、学習内容の実践的活用を身につける。	株式会社システムタイズ、株式会社アドボックス フォトグラフィ、玉島テレビ放送株式会社、株式会社テイクオフ、株式会社イケル 総数 24 社
合同制作 I	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	岡山県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課
合同制作 II	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	企業と連携し、学科内の学年の枠を越えて、制作とプレゼンテーション力を身につける。	岡山県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と関係者に対して研修内容の共有を行う。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	第58回 岡山WEBクリエイターズ「ノーコードツール徹底比較」	連携企業等:	岡山WEBクリエイターズ
期間:	令和7年2月15日	対象:	Webクリエイター系職員
内容:	ノーコードツールについて今後授業の中で取り上げていくため、現場で仕事をしている方がどのように感じ、活用しているのかについて知る機会となった。カリキュラムへの反映も含め検討する。		
研修名:	チェックバックの視点と思考から理解するWebデザインプロセス	連携企業等:	CSS Nite、加藤千歳
期間:	令和6年11月1日	対象:	Webクリエイター系職員
内容:	「WebデザインプロセスBook」の内容から、Webデザインのヒアリングからワイヤーフレーム、チェックバック、完成に至るまでの過程を解説。授業時のチェックバックや、学生自身が自分の作品を振り返ったり、ヒアリングの際に聞いておくべきことやまとめかたなど、カリキュラムに反映していくべき事項が多くあった。		
研修名:	CG-World 最新のCGクリエイターの現状	連携企業等:	株式会社ボーンデジタル
期間:	令和7年2月18日	対象:	Webクリエイター系職員
内容:	3DCGの最新の制作方法や古き時代の作品の制作方法の紹介。雑誌「CG-WORLD」の歴史と存在意義について。現代の雑誌の中で、唯一無二の存在である事へのこだわりなど、制作ポリシーをレクチャーいただく。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「志セミナー」株式会社ミアーズ 代表取締役 前村美樹さん講演	連携企業等:	株式会社ミアーズ
期間:	令和6年6月13日 9:30-10:30	対象:	教務課職員
内容	業界をリードする経営者を講師に迎え、自身の経験を踏まえながら、「変化する時代に生き抜く力を身に付ける方法」「自身の力でキャリアをデザインする生き方」について講演いただく。自分自身の人生や社会課題の解決について考える機会とし、一人ひとりのやる気と行動の原点につなげていく。		
研修名:	学生指導力を向上させるマネジメント研修	連携企業等:	株式会社インソース
期間:	令和7年3月11日～12日	対象:	学科責任者
内容	学校における強みを理解し、教職員が柱である授業運営やガイダンスに注力できる環境を構築し、学生指導力の向上を図る。		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「志セミナー」株式会社ミアーズ 代表取締役 前村美樹さん講演	連携企業等:	株式会社ミアーズ
期間:	令和6年6月13日 9:30-10:30	対象:	教務課職員
内容	業界をリードする経営者を講師に迎え、自身の経験を踏まえながら、「変化する時代に生き抜く力を身に付ける方法」「自身の力でキャリアをデザインする生き方」について講演いただく。自分自身の人生や社会課題の解決について考える機会とし、一人ひとりのやる気と行動の原点につなげていく。		
研修名:	学生指導力を向上させるマネジメント研修	連携企業等:	株式会社インソース
期間:	令和7年3月11日～12日	対象:	学科責任者
内容	学校における強みを理解し、教職員が柱である授業運営やガイダンスに注力できる環境を構築し、学生指導力の向上を図る。		

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	第59回 岡山WEBクリエイターズ「動画/インスタ/キャッチコピーの伝え方」	連携企業等:	岡山WEBクリエイターズ
期間:	令和7年4月	対象:	Webクリエイター系職員
内容	動画コンテンツの活用法、InstagramでのWeb戦略、キャッチコピー作成のコツについて		
研修名:	第59回 岡山WEBクリエイターズ	連携企業等:	岡山WEBクリエイターズ
期間:	令和7年6月	対象:	Webクリエイター系職員
内容	Web業界の最新の情報、動画コンテンツの活用法など		
研修名:	動画制作の最新ツールの紹介	連携企業等:	株式会社ボーンデジタル
期間:	令和8年2月	対象:	Webクリエイター系職員
内容	アニメーション制作や3DCGの制作に携わる技術、現在の動画制作の現状とツール紹介など		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	組織を強くする人材育成	連携企業等:	株式会社東京カモガシラランド
期間:	令和7年5月7日	対象:	学科責任者
内容	人材育成の重要性を再確認し、日頃のマネジメントに活用することにより、教職員全体の成長につなげていくとともに、学生指導にも効果的に活用する。		
研修名:	AI活用術	連携企業等:	ユースフル株式会社
期間:	令和7年10月予定	対象:	教員
内容	ChatGPT等のAI技術を活用することによる授業準備効率の向上手法を学ぶ。		
研修名:	救命救急講習	連携企業等:	岡山市消防局
期間:	令和7年8月予定	対象:	全教職員
内容	心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法など、基本的な応急処置を学ぶ		

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目標
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の順守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

入試を実施しても、ほぼ全員が入学する状況であると考えられる。こうした状況を踏まえ、今後どのような取り組みが必要であるかについてご意見をいただいた。

その中で、本校の強みの一つである「面倒見の良さ」は引き続き維持しつつ、アドミッションポリシーに掲げる「これまでより、これから」を意識し、入学後に学生自身の意思によって成長できるような支援を行っている。

具体的には、教職員が一丸となって、授業や個別面談、課外活動、キャリア支援など、あらゆる場面で学生に寄り添い、声をかけ、適切な支援や挑戦の機会を提供するなど、積極的かつ継続的に関わっている。

あわせて、アクティブラーニングやプロジェクト型学習など指導方法の工夫を重ね、学生の主体的な学びを促すとともに、地域や企業、卒業生との連携を通じて、実社会とつながる学びの場を構築している。今後もこうした多面的な取り組みにより、学生一人ひとりの成長を着実に支えていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
畑 嘉昭	株式会社トスコ 代表取締役社長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員 (IT)
平野 彰一	社会福祉法人岡北福祉会 岡北学園 理事長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員 (保育)
守井 照久	税理士法人 創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (会計)
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (ビジネス)
山本 渉	医療法人 和香会 倉敷スイトホスピタル 事務局長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (医療)
豊田 東	ハイオシステム株式会社 岡山国際ホテル 総支配人	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (ホテル)
高橋 京恵	株式会社FIL DESIGN 代表取締役	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (デザイン)
北牧 涼輔	NAYUG合同会社 代表社員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (ゲーム)
米谷 紀彦	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (公務員)
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務部 部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員 (留学生)
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 DE事業部 製造ソリューション部 部長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	卒業生
藤田 直樹		令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://oic-ok.ac.jp/about/info/>

公表時期: 毎年10月1日に更新

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2)各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3)教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7)学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8)学校の財務	財務状況
(9)学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	なし
(11)その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他()

URL: <https://oic-ok.ac.jp/about/info/>

公表時期: 毎年6月に更新

(別途、以下の資料を提出)

- * 情報提供している資料(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7、8についても同じ。)

授業科目等の概要

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			ビジネス実務 ⅠA	社会常識・マナー・コミュニケーション能力を習得し、社会人としての基礎力と自分のキャリア形成について学ぶ。	1 前期	60	4	○			○		○		
2	○			ビジネス実務 ⅡA	社会常識やマナー、面接対策などを通じて実践力を養い、職業理解と将来設計に必要な基礎力を身につける。	1 後期	45	3	○			○		○		
3	○			Illustrator 演習基礎	デザイン制作の標準ソフトとなっているAdobe Illustratorの基本操作スキルを学習。課題制作、模擬問題を通してスタンダードレベルの検定取得を目指します。	1 前期	50	3		○		○		○		
4	○			Photoshop 演 習基礎	デザイン制作の標準ソフトとなっているAdobe Photoshopの基本操作スキルを学習。課題制作、模擬問題を通してスタンダードレベルの検定取得を目指します。	1 前期	50	3		○		○		○		
5	○			色彩概論Ⅰ	デザイン制作に不可欠な「色彩学」の理論についての基礎知識を習得することにより、必要に応じて色を使いこなせるようにする。	1 前期	48	3	○			○		○		
6	○			Web デザイン 演習基礎Ⅰ	Web媒体に関する基礎知識を学習する。課題制作を通してWebデザインにおける構成要素を理解する。	1 前期	45	3		○		○		○		
7	○			デザイン演習 Ⅰ	チラシ、ポスター等の制作を通じて、広告媒体の制作技法を学ぶ。	1 前期	32	2		○		○		○		
8	○			動画制作演習 基礎	Webデザインやグラフィックデザインなどに応用し、ビジュアルのクオリティをアップさせる要素として重要な写真・映像撮影技術の基本的な機能や技術を修得する。写真撮影から動画撮影へ領域を広げ、カメラによる総合的な表現手法習得をおこなう。	1 前期	48	3		○		○			○	
9	○			HTML制作演習 基礎	web制作の基本を学ぶ。HTMLを使用しての構造的なコーディング、各CSSの意味を理解し習得する。	1 前期	35	2		○		○		○		
10	○			Web デザイン 概論	Webデザインを行うために必要な基礎知識、インターネット、デジタルコンテンツ、文字や色、HTML・CSS、知的財産権などの知識の習得。	1 前期	32	2	○			○		○		

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
11	○			Illustrator 演習応用	デザイン制作の標準ソフトとなっている Adobe Illustrator の応用操作スキルを習得。課題制作、模擬問題を通してエキスパートレベルの検定取得を目指す。	1前期	36	2		○		○		○		
12	○			Photoshop 演習応用	デザイン制作の標準ソフトとなっている Adobe Photoshop の応用操作スキルを習得。課題制作、模擬問題を通してエキスパートレベルの検定取得を目指す。	1前期	33	2		○		○		○		
13	○			情報アーキテクチャ	既存の広告物を参考に要素を分解、自分なりに必要な要素を整理してリデザインを行う。また、文字だけの情報からデザイン要素の優先順位を考え、デザインに起こしていく。完成した制作物について、文章やプレゼンで表現する力を身につける。	1後期	32	2	○			○		○		
14	○			Web デザイン 演習基礎II	Web媒体に関する基礎知識を学習する。課題制作を通してWebデザインにおける構成要素を理解する。	1後期	46	3		○		○		○		
15	○			プレゼンテーション技法	プレゼンテーションを行う目的を理解し、各自でパワーポイントなど使用して資料を制作。時間を決めてのプレゼンをクラス内で実施。相互フィードバックを行い、プレゼンスキルをブラッシュアップしていく。	1後期	30	2		○		○		○		
16		○		動画制作演習 応用I	ネット動画や映画・TV・広告など、映像が持つ性質や規格の違いを知り、映像制作におけるアイデアの構築から実際の映像作品の制作に係る一連のプロセスを学ぶ。個人でのプロジェクトを通じて、映像制作の基礎と編集の基本を習得し、発表を行う。	1後期	70	4		○		○			○	
17		○		HTML制作演習 応用I	HTMLの基礎的な構造を理解し、構築する。CSSでスタイリングを整え、レスポンスにも対応する基礎的なWebサイトの制作	1後期	70	4		○		○		○		
18	○			Web マーケティング	ブランド戦略、価格戦略等、マーケティングにおける戦略について発展的に学習する。課題制作を行いながら近代的なマーケティングを理解する。	1後期	30	2		○		○			○	
19	○			グラフィックデザイン I	チラシ、ポスター等の制作を通じて、広告媒体の基礎的な制作技法を学ぶ。	1後期	30	2		○		○		○		

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
20	○			ペン字	美しい文字を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本店画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。	1 後 期	15	1		○		○			○	
21	○			デザイン演習II	チラシ、ポスター等の制作を通じて、広告媒体の制作技法を応用的に学ぶ。	1 後 期	45	3		○		○		○		
22	○			合同制作I	1年生と2年生合同でグループワークにより課題を制作する。 仕事に対する立ち振る舞い方、上下関係を体感することで、会社内での立ち振る舞い方を身につける。	1 後 期	35	2		○		○		○		○
23	○			インターンシップ実習	実務に関わり、社会人としての実践経験を積む貴重な機会とし、社会人として必要なマナーを再確認し、業務に必要なスキルは何なのかを学習することで、働く意識をより一層高める。組織のかかわりを深め、求められている会社員としての理解・判断力を養う。	1 後 期	70	2		○		○		○		○
24	○			ビジネス実務ⅢA	社会常識・ビジネスマナー・コミュニケーション能力を1年次よりさらに深め、実践的な対応力を養うことを目的とした講義。	2 前 期	30	2	○			○		○		
25	○			ビジネス実務ⅣA	1年次の学びを基にマナー等の知識を深め、検定受験や就職活動を通じて実践力と社会人としての心構えを養う講義。	2 後 期	15	1	○			○		○		
26	○			ビジネスアプリケーション	テキスト30時間でマスターOffice2019の内容を行う。 MacでのExcelを操作したことがない学生が大半であるため、基礎から行っていく。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら、検定3級合格レベルまで引き上げていく。	2 前 期	32	2		○		○		○		
27	○			プレゼンテーション技法	プレゼンテーションを行う目的を理解し、各自でパワーポイントなど使用して資料を制作。時間を決めてのプレゼンをクラス内で実施。相互フィードバックを行い、プレゼンスキルをブラッシュアップしていく。	2 前 期	35	2		○		○		○		
28	○			Webデザイン演習応用I	Webデザインの応用的な技術や表現手法を学習する。実践的な課題制作を通して、ユーザビリティやインタラクションデザインを考慮したWebサイトを設計・制作できるようになる。	2 前 期	48	3		○		○		○		

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
29		○		動画制作演習 応用II	ネット動画や映画・TV・広告など、映像が持つ性質や規格の違いを知り、映像制作におけるアイデアの構築から実際の映像作品の制作に係る一連のプロセスを学ぶ。グループでのプロジェクトを通じて、これまでに学んだ映像制作と編集について応用力を養う。	2 前期	73	4		○		○			○	
30		○		HTML制作演習 応用II	WordPressについて基本的な操作方法を習得し、初歩的なテンプレートの作成やカスタマイズに挑戦することで実務レベルのWeb制作を学ぶ。	2 前期	73	4		○		○			○	
31	○			ライティング 演習	グラフィックデザインやWebデザインにおいて、ターゲットに訴求する文章のテクニックを学ぶ。	2 前期	33	2		○		○			○	
32	○			グラフィック デザインII	企業ロゴ、チラシなど制作実習を通して、グラフィックデザインの基礎を学ぶ。	2 前期	74	4		○		○			○	
33	○			ディレクショ ン演習	ディレクターとはどういう仕事か解説。仮想クライアントを想定し、ヒアリングから行い、スケジュール管理から役割の指示、またコスト管理も意識しながらプレゼンテーションを行う。	2 前期	74	4		○		○			○	
34	○			トライアル演 習 I	Webデザインや動画制作など、デジタルクリエイティブ分野の多様な技術に挑戦する。実践的な課題を通じて、企画から制作までのプロセスを学び、表現の幅を広げることを目指す。	2 前期	74	4		○		○			○	
35	○			Web デザイン 演習応用Ⅱ	Webデザインの応用的な技術や表現手法を学習する。実践的な課題制作を通して、ユーザビリティやインタラクションデザインを考慮したWebサイトを設計・制作できるようになる。	2 前期	45	3		○		○			○	
36	○			コンテンツ概 論	生成AIを活用したコンテンツ制作が急激に進む昨今、著作権トラブルに巻き込まれないよう必要な知識を養う。	2 後期	30	2	○			○			○	
37	○			マルチメディ ア演習	写真・動画撮影、編集、デザイン制作など、マルチメディアを活用した表現技法を学ぶ。クラス紹介動画や雑誌制作などの実践的なプロジェクトを通じて、企画から制作・発信までの流れを体験し、総合的なクリエイティブスキルを習得する。	2 後期	60	4		○		○			○	

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
38	○			卒業研究Ⅰ	企業連携課題を制作し提案する。学科コラボで研究課題をディスカッションし双方で意味のある課題を制作し発表する。	2 後 期	80	4		○		○		○		
39	○			卒業研究Ⅱ	個人制作で起案、計画、制作まで展示発表する。	2 後 期	83	4		○		○		○		
40	○			トライアル演習Ⅱ	クライアントワークの基礎から、多くの領域に考慮が必要な案件まで、実制作を通じて学ぶ。	2 後 期	40	2		○		○		○		
41	○			合同制作Ⅱ	1年生と2年生合同でグループワークにより課題を制作する。 仕事に対する立ち振る舞い方、上下関係を体感することで、会社内での立ち振る舞い方を身につける。	2 後 期	35	2		○		○		○		○
42		○		ペン字上級	日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。 行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。	後 期	15	1		○		○		○		
43		○		ビジネス英語	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。	後 期	15	1	○			○		○		
44		○		エクセル上級	Excelのスキルををあらゆるビジネスシーンで活用できるように、基礎知識から応用まで幅広く学び、PCスキルを社会で活かせる人材育成を目的とする。	後 期	15	1		○		○		○		
45		○		医療事務	医療機関の役割、医療保険制度の仕組みを知り、簡単な医療費の計算方法を習得する。	後 期	15	1		○		○		○		
46		○		RPA実習	作業自動化ツールであるRPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。	後 期	15	1		○		○		○		
47		○		情報リテラシー	業務で役立つWindowsの便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識やAIの活用方法などについて学ぶ。	後 期	15	1		○		○		○		
48		○		データマーケティング	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excelを活用した分析手法についても修得する。	後 期	15	1		○		○		○		

(工業専門課程 ネット・動画クリエイター学科)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
49		○	ファイナンシャルプランナー	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。	後期	15	1	○			○		○			
50		○	一般知能	数的推理・判断推理を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。	後期	15	1	○			○		○			
51		○	フラワーアレンジメント	フラワーデザインの基本的な知識を習得し、形や構成からテーマを表現する。	後期	15	1		○		○			○		
52		○	ゲームプログラミング	ゲームプログラミングを通じて論理的思考法を身に付ける	後期	15	1		○		○		○			
53		○	広告映像	会社の広報SNSなどに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。	後期	15	1		○		○		○			
54		○	ビジュアルデザイン	デザインアプリFigmaを使用。商業デザインの制作を通して、レイアウト、表現技法を学ぶ。	後期	15	1		○		○		○			
55		○	世界情勢	自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身に付ける	後期	15	1		○		○		○			
合計				55 科目			2131 単位 (単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	・ 卒業基準検定もしくは、認定試験の取得 ・ 授業への出席80%以上 ・ 履修するすべての科目において、S・A・B・Cいずれかの成績評価を得ること。	1 学年の学期区分	2 期
	履修方法： 学科・専攻で定められたカリキュラムについて履修すること。	1 学期の授業期間	20 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。